

平成 20 年北秋田市議会 9 月定例会行政報告

北秋田市議会 9 月定例会が開催されるにあたり、6 月 18 日以降の主な事項及び今後予定している事項について報告いたします。

市長部局

総務部

総務課関係

職員の懲戒処分について、8 月 15 日付けで遅刻・欠勤が常習化していた職員 2 人を減給処分とし、上司 4 人を厳重注意としました。職員の綱紀肅正については徹底して取り組んでまいりましたが、今回また市民の信頼を損ねたことは極めて遺憾であり、皆様にお詫びを申し上げますとともに、今後も厳正に対処し再発防止に努めてまいります。

平成 20 年度市職員の研修について、人材育成の観点から秋田県市長会及び秋田県自治研修所で主催する研修会に派遣しております。研修の内容では、新規採用者 3 人、管理職等 3 人、特別研修（能力開発等）として 13 人が受講しております。また市町村アカデミー研修に 1 人が参加しております。

平成 20 年度職員採用試験（一般職上級・初級、初級消防吏員）については、8 月 6 日から 27 日までの期間で受け付し、第 1 次試験は 9 月 21 日に県町村会の統一試験として、ノースアジア大学で実施されます。

税務課関係

平成 20 年度市民税（個人）の当初課税状況は、納税義務者数が 16,339 人（対前年度 334 人減）、課税額が 1,054,004 千円（対前年度 9,689 千円減）となっております。

また、平成 19 年度の各市税の税目ごとの収納状況は、次のとおりとなっております。

(単位：円%)平成20年5月31日現在

区 分		調 定 額	収 入 済 額	欠 損 額	繰 越 額	収 納 率 %	前年度収納率%	前年度対比%
市 民 税	現年	1,102,672,800	1,078,677,997	0	23,994,803	97.82	98.19	0.37
	繰越	48,829,324	5,902,412	7,278,899	35,648,013	14.21	22.41	8.20
	計	1,151,502,124	1,084,580,409	7,278,899	59,642,816	94.79	94.55	0.24
法人市民税	現年	187,864,500	186,659,700	0	1,204,800	99.36	99.31	0.05
	繰越	4,520,115	930,500	755,515	2,834,100	24.72	23.88	0.84
	計	192,384,615	187,590,200	755,515	4,038,900	97.89	97.46	0.43
固定資産税 (純固定資産税)	現年	1,496,416,700	1,451,149,023	9,800	45,257,877	96.98	96.31	0.67
	繰越	204,798,646	19,352,649	33,801,541	151,644,456	11.32	10.39	0.93
	計	1,701,215,346	1,470,501,672	33,811,341	196,902,333	88.19	87.79	0.40
固有資産等所在 市町村交付金	現年	62,614,400	62,614,400	0	0	100.00	100.00	0.00
	繰越	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00
	計	62,614,400	62,614,400	0	0	100.00	100.00	0.00
軽自動車税	現年	68,103,900	66,510,400	0	1,593,500	97.66	97.67	0.01
	繰越	4,550,800	707,000	524,500	3,319,300	17.56	20.30	2.74
	計	72,654,700	67,217,400	524,500	4,912,800	93.19	93.56	0.37
市たばこ税	現年	212,271,412	212,271,412	0	0	100.00	100.00	0.00
	繰越	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00
	計	212,271,412	212,271,412	0	0	100.00	100.00	0.00
入 湯 税	現年	2,801,250	2,801,250	0	0	100.00	100.00	0.00
	繰越	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00
	計	2,801,250	2,801,250	0	0	100.00	100.00	0.00
一 般 税 計	現年	3,132,744,962	3,060,684,182	9,800	72,050,980	97.70	97.44	0.26
	繰越	262,698,885	26,892,561	42,360,455	193,445,869	12.21	13.21	1.00
	計	3,395,443,847	3,087,576,743	42,370,255	265,496,849	92.08	91.55	0.53
国民健康保険税	現年	970,490,700	911,249,036	0	59,241,664	93.90	93.74	0.16
	繰越	238,454,212	19,567,870	38,890,714	179,995,628	9.81	10.26	0.45
	計	1,208,944,912	930,816,906	38,890,714	239,237,292	79.55	79.72	0.17
総 計	現年	4,103,235,662	3,971,933,218	9,800	131,292,644	96.80	96.49	0.31
	繰越	501,153,097	46,460,431	81,251,169	373,441,497	11.06	11.80	0.74
	計	4,604,388,759	4,018,393,649	81,260,969	504,734,141	88.84	88.27	0.57

企 画 部

総合政策課関係

秋田内陸線について、再生支援協議会が7月14日に阿仁支所で開催され、「地方公共交通活性化法」の制定により、第三セクター鉄道の再生・支援のスキームが強化されたのに伴い、この新制度を取り入れて最善の存続方策を見出すため、再生計画を見直すことになりました。平成19年度の利用実績は、乗車人員443,170人、収入金額202,825千円、経常損失262,927千円で前年同比となり、再生計画の目標を大きく下回り79.9%の達成率でした。

イベントの開催については、各団体で秋田内陸線の存続に向け、積極的な取り組みが行われ、「内陸線おばけやしき」が阿仁合駅前倉庫で8月2日から10日、16日の10日間開催され、期間中610人の入場者がありました。その内、約200人が内陸線利用者で、特に週末は入場者が倍増し終日賑わいました。

新エネルギー利用促進のための啓発活動について、資源エネルギー庁、秋田県等との共催により、7月16日に阿仁合小学校、大阿仁小学校の高学年を対象に、「新エネルギー教室」を開催しました。児童は、風力発電の体験等により、新エネルギーの大切さを楽しく学びました。

北秋田市の行財政改革について、「第16回北秋田市組織機構改革検討委員会」が7月23日、市役所大会議室で開かれ、来年4月に実施予定の組織機構の素案をまとめました。この素案については、8月12日に、議会全員協議会で説明した後、8月28日から9月2日まで旧4地区で開催される移動行政懇話会で市民の皆様へ説明し、意見等をいただきながら調整を図りたいと考えております。

また、「第1回行財政改革推進委員会」を8月18日に開催し10名の委員に委嘱状を交付しました。会議では、今後の行財政改革大綱の策定方法とタイムスケジュールについて話し合っております。

「ふるさと納税」の取り組みについては、8月1日に「きたあきたふるさと寄附金要綱」を制定し、ホームページや盆の帰省者を対象にPRに努め、8月20日に第1号の寄附金申し込みをいただいております。

ハバロフスク地方視察研修事業について、8月4日から8日までの5日間の日程で、市長ならびに議長および総務課職員の3名が、ロシア連邦ハバロフスク地方を訪問しました。

ハバロフスク地方とは、旧合川町が平成2年に交流をはじめて以来、北秋田市に移行した現在も子ども交流を中心に友好関係が続けられており、平成17年と平成19年にハバロフスク交流団一行が北秋田市庁舎を訪れた際、同交流団から市長なら

びに議長に対しハバロフスクへの招請を受けた経緯があり、このたびハバロフスク地方対外友好団体協会より招聘状が届き、訪問することになったものです。

主な研修先として、ハバロフスク市庁舎の表敬訪問をはじめハバロフスク地方医師研修センター、商工会議所、学校（11歳から17歳まで就学）、ロシア伝統工芸クラブ、農場、子どもレクリエーションセンター（林間学校）、日本人墓地等を視察しました。

訪問各所において、ハバロフスク地方の現状を直に見ることができ、今後の交流に関する話し合いも行われ、相互において共通認識や理解が深められました。

今後は、今回の研修結果を踏まえ、子どもたちの相互交流の継続や医療・産業分野の交流についても検討することとしています。

財政課関係

平成20年6月3日から8月12日までの工事等（500万円以上）の発注状況は、次のとおりとなっております。

工事等発注一覧表

500 万円以上（消費税含む）

平成20年6月3日～平成20年8月12日

工事名（業務名）	契約年月日	契約額 （千円）	請負業者名
固定資産路線価鑑定評価業務委託	H20.6.13	9,922	シンコウ補償㈱
総務部 1件		9,922	
住基ネットシステム更新	H20.7.11	10,914	日本電気㈱秋田支店
企画部 1件		10,914	
クリーンリサイクルセンター2号炉ガス冷却室天井耐火物補修工事	H20.7.11	7,365	ユニチカ㈱東京本社
市民生活部 1件		7,365	
林道災害復旧工事（宝附線第1号・2号・3号）	H20.6.16	8,326	（有）岸野建設
林道改良工事（奥見内線）	H20.7.4	39,669	㈱佐藤庫組
産業部 2件		47,995	
河川災害復旧工事（準用河川 湯車川右岸）	H20.6.17	7,822	（有）長岐建設
道路災害復旧工事（二級市道 大印ノ口川線）	H20.6.27	5,229	（有）吉勝組
道路災害復旧工事（一級市道 ブナ森線）	H20.6.27	8,132	（有）鈴謙
道路災害復旧工事（一級市道 ブナ森線）	H20.6.27	14,542	古河林業緑化㈱
道路災害復旧工事（一級市道 ブナ森線）	H20.6.27	14,941	（有）岸野建設
道路災害復旧工事（一級市道 ブナ森線）	H20.6.27	9,261	（有）鈴謙
道路災害復旧工事（その他市道 ブナ森2号線）	H20.6.27	14,437	㈱上杉組

道路災害復旧工事（その他市道 根森田下線）	H20.6.27	38,745	奥山建設(株)
北秋田市公共下水道台帳作成業務委託	H20.7.1	5,565	(株)パスコ秋田支店
用地測量業務委託（市道 東根田下杉線）	H20.7.11	22,890	創和技術(株)北秋田事務所
村づくり交付金＜農業集落排水単独事業＞ 道城地区第 04301 号工事	H20.7.25	10,500	(株)佐藤庫組
道路詳細設計業務委託(市道 摩当～向黒沢線)	H20.8.8	8,400	(株)創研コンサルタント 北秋田営業所
管渠詳細設計業務委託（阿仁合処理区）	H20.8.8	12,915	日本水工設計(株)秋田事務所
舗装維持工事（市道 岩谷線）	H20.8.12	8,925	(有)丸栄建設
面整備工事（鷹巣処理区その1）	H20.8.12	13,797	かつら造園建設(株)
面整備工事（米内沢処理区その1）	H20.8.12	17,010	(名)細田組
舗装復旧工事（米内沢処理区）	H20.8.12	19,950	(株)藤島組
建設部 17件		233,061	
合川上水道施設災害復旧事業 合川地区水道施設災害復旧工事	H20.7.25	23,205	大館桂工業(株)北秋田営業所
森吉上水道施設災害復旧事業 森吉地区水道施設災害復旧工事	H20.7.25	27,804	(株)増田鉄工場
森吉支所 2件		51,009	
合計 24件		360,266	

市民生活部

市民課関係

平成 20 年 7 月末日現在の住民登録者数は、38,645 人（男 18,241 人、女 20,404 人）で、世帯数は 14,729 世帯となっております。

保険課関係

国民健康保険、後期高齢者医療、福祉医療については、次のとおりとなっております。

1. 国民健康保険

1) 税率等について

国民健康保険税の税率等は、平成 20 年度から次のとおりです。

医療分

区分	所得割	均等割	平等割
税率等	7.5%	20,000 円	20,000 円

支援金分

区分	所得割	均等割	平等割
税率等	1.7%	2,000 円	2,000 円

介護分

区分	所得割	均等割	平等割
税率等	2.0%	6,000 円	5,000 円

特定世帯の医療分及び支援金分の平等割は 1 / 2

2) 調定状況について

平成 20 年度国民健康保険税の調定状況は、次のとおりです。

(本算定時(7月1日))

区 分		平成 20 年度	平成 19 年度	対 H19 増減額
医療分	一般	485,636,547 円	655,415,528 円	169,778,981 円
	退職	47,772,853 円	235,980,372 円	188,207,519 円
	計	533,409,400 円	891,395,900 円	357,986,500 円
支援金分	一般	84,136,705 円	0 円	84,136,705 円
	退職	8,549,895 円	0 円	8,549,895 円
	計	92,686,600 円	0 円	92,686,600 円

介護分	一般	58,703,967 円	60,991,138 円	2,287,171 円
	退職	12,139,333 円	14,583,562 円	2,444,229 円
	計	70,843,300 円	75,574,700 円	4,731,400 円
合 計		696,939,300 円	966,970,600 円	270,031,300 円

3) 税の軽減について

国民健康保険税の軽減とは、低所得者階層に対する税負担の軽減を図るため、被保険者の所得が一定以下の場合、軽減を行うものです。

国民健康保険税の軽減については、医療・支援金分は 3,547 世帯、5,549 人（52.9%）97,695 千円となり、加入者の半数以上が軽減を受けていることとなります。また、介護分は 1,693 世帯、2,021 人（47.9%）10,539 千円となり、医療・支援金及び介護の軽減合計額は 108,234 千円となります。

軽減世帯数及び軽減被保険者数

区 分		課税世帯等	7 割軽減	5 割軽減	2 割軽減	軽減計
医療・支援金分	一般	5,962 世帯	1,961 世帯	493 世帯	961 世帯	3,415 世帯
		9,666 人	2,558 人	982 人	1,679 人	5,219 人
	退職	332 世帯	55 世帯	20 世帯	57 世帯	132 世帯
		814 人	97 人	70 人	163 人	330 人
介護分	一般	2,763 世帯	842 世帯	214 世帯	385 世帯	1,441 世帯
		3,425 人	924 人	292 人	479 人	1,695 人
	退職	579 世帯	84 世帯	48 世帯	120 世帯	252 世帯
		798 人	97 人	69 人	160 人	326 人

軽減額及び全体に占める割合

医療分

（単位：円、割合は被保険者数による％）

区 分	7 割軽減		5 割軽減		2 割軽減		計	
		割合		割合		割合		割合
一 般	60,732,000	26.5	14,140,000	10.2	10,152,000	17.4	85,024,000	54.0
退 職	2,072,000	11.9	860,000	8.6	858,000	20.0	3,790,000	40.5
計	62,804,000	25.3	15,000,000	10.0	11,010,000	17.6	88,814,000	52.9

支援金分

区 分	7 割軽減		5 割軽減		2 割軽減		計	
		割合		割合		割合		割合
一 般	6,073,200	26.5	1,414,000	10.2	1,015,200	17.4	8,502,400	54.0
退 職	207,200	11.9	86,000	8.6	85,800	20.0	379,000	40.5
計	6,280,400	25.3	1,500,000	10.0	1,101,000	17.6	8,881,400	52.9

介護分

区 分	7 割軽減		5 割軽減		2 割軽減		計	
		割合		割合		割合		割合
一 般	6,827,800	27.0	1,411,000	8.5	959,800	14.0	9,198,600	49.5
退 職	701,400	12.2	327,000	8.6	312,000	20.1	1,340,400	40.9
計	7,529,200	24.2	1,738,000	8.5	1,271,800	15.1	10,539,000	47.9

4) 前期高齢者受給者証の交付状況について

(8 月 1 日現在)

区 分	現役並所得者	一 般	低所得者(非課税)		計
			低	低	
交付者数	43	1,296	903	160	2,402

2. 後期高齢者医療

1) 被保険者証の交付状況について

(8 月 1 日現在)

交付者数	7,449	内障害認定者	365
------	-------	--------	-----

3. 福祉医療

1) 受給者証(通称:マル福)の交付状況について

(8 月 1 日現在)

区分	年 齢	受 給 対 象 要 件	人数
7 4 0	1 歳 ~ 6 歳	乳幼児で所得が基準内で、住民税非課税世帯の子	362
	0 歳	乳幼児で所得が基準内世帯の子	
8 0 1	1 歳 ~ 6 歳	乳幼児で所得が基準内で、住民税課税世帯の子	703
8 0 2	0 歳 ~ 6 歳	乳幼児で所得が基準超過世帯の子	221
7 5	0 歳 ~ 18 歳	母子家庭の子	337

7 6	0 歳 ~ 18 歳	父子家庭の子	75
7 2	65 歳 ~ 74 歳	身体障害者手帳 4 ~ 6 級所持者	176
7 3	0 歳 ~ 64 歳	身体障害者手帳 1 ~ 3 級又は療育手帳 A 級所持者	560
7 7	75 歳以上	身体障害者手帳 4 ~ 6 級所持者	449
7 8	65 歳以上	身体障害者手帳 1 ~ 3 級又は療育手帳 A 級所持者	1,119
計			4,002

乳幼児については、法別で区分されているが受給者負担はない。(無料)
年齢で6歳とは就学前まで、18歳とは高校卒業まで。

医療推進課関係

市民病院建設について、7月9日宮城県美里町議会、7月11日石川県能美市議会、7月23日岡山県倉敷市議会からそれぞれ行政視察、研修のために議員の方々が訪れました。建設計画についての概要説明、建築中の現場案内等を行いました。

また、7月17日には秋田県議会の福祉環境委員会が県内調査のため訪れ、市民病院建設に至るまでの経緯、財源等について質疑を交わしました。

市民病院建築工事は21年8月の竣工に向け順調に工事が進められており、7月末現在の進捗率は35%であります。

国民健康保険合川診療所関係

外来患者数について、4月から7月までは4,982人で、前年同期対比77人(1.6%)の増加となり、診療収入においても、前年同期対比で1,284千円(2.1%)の増収となっております。

今後も地域住民の健康を守るとともに安定した経営のための努力を重ねてまいります。

阿仁病院関係

平成19年度の決算状況について、医業収益と医業外収益とを合わせた病院事業の収入総額が493,514,007円、支出総額で487,810,585円となり、前年度対比でそれぞれ188,702,157円、176,657,984円の減額となりました。この収支状況の落ち込みは、入院病棟の休床に起因するものでありますが、19年度の単年度収支については、5,703,422円の純利益となりました。

業務量についても、入院と外来者数を合わせた患者数は33,106人で、18年度と比較して9,699人の減少となっております。

過疎地域を取り巻く医師不足という医療環境は厳しさを増す一途にあります。

効率性ある経営を引き続き心がけながら、自治体病院の役割を担うべく医療サービスの提供に努めてまいります。

保健センター関係

4月から始まった成人検診事業については、市内全域で8月8日に終了しました。(個別医療機関方式、国保ドック方式は継続)。

集団検診の受診状況については、特定健康診査2,022人、一般健康診査1,124人(一般119人・後期高齢者1,005人)となっております。各種がん検診等は、胃がん検診2,099人、胸部総合検診3,834人、骨そしょう症検診422人、喀痰検査93人、子宮頸部・卵巣がん検診631人、大腸がん検診3,318人、乳がん検診575人、前立腺がん検診1,222人、肝炎ウイルス検診6人となっております。

また、特定健康診査の結果、動機づけ支援対象者は252人、積極的支援対象者は69人となっており、森吉、阿仁、合川の3地区で、特定保健指導に入っております(鷹巣地区は9月からの予定)。

肺炎球菌予防接種については、5月1日から事業を実施しております(平成21年1月31日まで)。インフルエンザ予防接種については、10月15日から平成21年1月31日までの期間で事業を実施してまいります。

市民の健康づくり事業の一環であるウォーキングについては、2回目として阿仁地区の「しょうぶウォーク」が7月10日に開催され、137人(内、内陸線利用者108人)の参加がありました。

母子保健事業については、乳幼児や保護者とのふれあいを目的として思春期ふれあい体験事業を7月29日、30日に実施し、阿仁中学校の3年生、29人が参加しました。

食育推進事業については、体験学習型の食育探健隊(幼児対象のキッズコース・小学校1~3年生対象のジュニアコース)を3回実施し、延べ30組(子ども59人、大人47人)の参加がありました。今後、さらに3回の事業を実施し、幼少期からのよりよい食習慣の定着を図ってまいります。

献血については、7月末現在で全血献血者が353人となっております。

生活環境課関係

夏の交通安全運動について、8月1日から10日まで市内交通安全団体と連携してドライバーに対して、国道7号線や合川支所前交差点等で、交通安全啓発用品等の配付を実施しました。

不用入れ歯の回収について、金属部分を資源としてリサイクルし、収益を恵まれない子供達や福祉のために役立てるため「不用入れ歯回収ボックス」を8月から本

庁舎及び各支所へ設置しております。

不法投棄対策については、6月と8月、県の協力により、市内の不法投棄が後を絶たない2カ所に監視カメラを設置し、不法投棄防止対策を強化しております。

福祉事務所

福祉課関係

【地域福祉担当】

「第58回社会を明るくする運動」の集会について、7月11日に26団体240名の参加のもと市文化会館で開催されました。雨天のためパレードは中止となりましたが、罪を犯した人たちの更生ビデオをとおして、犯罪や非行の防止について啓蒙を広めました。

平成20年度北秋田市戦没者追悼式については、8月28日に市文化会館で行われ、遺族会会員約300人の参列のもと、県、市の関係者や遺族会員らが献花して、今日の平和で豊かな郷土の発展の礎となった戦没者を偲び、恒久平和の誓いを新たにしました。

【児童福祉担当】

各保育園については、毎年恒例の「夏まつり」を各保育園保護者会等が共催企画し、多くの皆さんが参加して保育園児と地域の交流を更に図っております。

南鷹巣保育園の改築工事は、国の補助金内示を受け7月16日に入札を行い、12月完成を目指して工事が進められております。

コウノトリ委員会による、第1回出合いの集い「夏のスーパーラプトレインで角館散策グルメツアー」は、7月26日に北秋田市（8人）を始め周辺市町村から28人（内、女性11人）の参加で秋田内陸縦貫鉄道を利用して行われ、車窓からの景色を楽しみながら列車内での交流とみちのく小京都の角館散策で交流を深めました。

児童扶養手当等の現況届については、8月20日から対象者352人の現況面接審査を実施し、申請、更新の手続きを行いました。

高齢者支援課関係

【介護保険担当】

介護保険については、7月末現在の要支援・要介護認定者数が2,751人となっており、その内サ - ビス受給者が2,095人で、認定者数に対する受給率は76.15%、昨年同期と比較すると認定者数は158人、サ - ビス受給者は80人増加しております。

また、今年度は、来年度からスタートする第四期の高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定年度であり、7月22日に第1回高齢者福祉・介護保険事業運営委員会を開催、策定にあたっての国の基本的な考え方等を説明し、地域の実情にあった計画書を策定するため作業を進めております。

【高齢福祉担当】

北秋田市敬老式について、敬老対象者(75歳以上)は、8月1日現在で7,671人、うち白寿該当者は16人、米寿該当者は246人、新規敬老者は630人と、年々増加の傾向にあります。9月2日の合川地区をスタートに9月15日の鷹巣地区の鷹巣会場まで10会場で開催し、長寿をお祝いいたします。

地域包括支援センター関係

要支援1・要支援2の認定者を対象とした介護予防支援事業については、7月末現在で45人がサービスを利用するため、新たに契約を行っており、同現在320人がサービスを利用しております。

地域支援事業における介護予防事業(特定高齢者)については、7月末現在で森吉地区49人・阿仁地区19人の計68人が該当者で、うち、30人が運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上等の事業に参加しております。

健診方法が変わり、受診者が減少し該当者も減ってはおりますが、昨年とほぼ同じ人数が事業に参加しております。介護予防事業が地域の人にも知られるようになってきており、今後、合川・鷹巣地区の実施に伴い、事業参加者が増えてくると思われます。

また、包括的支援事業については、総合相談として、7月末現在、電話・来所・訪問等による相談の延べ件数は838件となっており、その内、権利擁護関係も98件含まれ、それぞれのケースに応じて対処しております。

産 業 部

商工観光課関係

各種の観光イベント及び地域行事について、開催状況を次のとおり報告します。

秋田内陸線支援の一環として、駅からハイキングを実施し、7月6日(日)の「マタギの里 / 大飛瀑・安の滝ハイキング」には県内外より65人が参加、7月12日(土)の「最後の秘境・奥森吉 / 新緑の桃洞渓谷ハイキング」には、26人が参加しました。

7月4日(金)～14日(月)まで「阿仁のしょうぶ祭り」が開催され、期間中3,700人が訪れました。

7月12日(土)、「第17回北秋田市米代川花火大会」が米代川河川敷公園で開催され、3,000発の花火が打ち上げられ、約25,000人の観衆が訪れました。

7月13日(日)に「第16回合川あじさいまつり」が翠雲公園で開催され、約8,500人の方々が訪れました。また、特設ステージでも各種イベントが行われました。

7月14日(月)、15日(火)には「八幡宮綴子神社例大祭」が行われ、上町の大太鼓をはじめ、獅子踊りや奴踊りなどの郷土芸能を同神社に奉納しました。

8月7日(木)に「第22回森吉山麓たなばた火まつり」が阿仁前田河川公園で開催され、約15,000人が郷土芸能や絵灯籠行列、火文字や花火などの多彩なイベントを楽しみました。また、昨年の災害ボランティアの方々を招待し、地元との交流も深めております。

8月10日(日)に「2008 よねしろ鮎カップとよねしろレディース鮎カップ」が米代川で開催され、よねしろカップには県内外から25人、同レディースには県内から2人が参加しました。

8月14日(木)、「第28回合川ふるさとまつり」が合川体育館で行われ、当日の「まと火」は雨により中止となりましたが、夜に開催されたまつりでは、通り踊りなどのイベントが行われました。

8月14日(木)、15日(金)の両日に、「第52回市民盆踊り」が鷹巣銀座通り商店街で開催され、市民や帰省客らが踊りと豪華賞品の抽選会を楽しみました。

8月16日(土)、「第46回阿仁の花火大会と灯籠流し」が阿仁銀山の河川公園で開催され、4,000発の花火が打ち上げられ地区内外から約22,000人の観客が訪れました。また、特設祭壇では、先祖の霊を供養しました。

7月20日(日)に大館能代空港開港10周年記念感謝祭が行われ、家族連れなどが多数参加しました。記念式典では開港日に生まれた4人の子どもに航空券がプレゼントされました。

中心市街地活性化事業について、7月20日(日)に2回目の軽トラック市が行わ

れ、歩行者天国となった鷹巣駅前商店街で新鮮な野菜などを格安で買い求める市民らで賑わいました。

8月29日(金)～31日(日)まで北欧の杜公園で「平成20年度F3A日本選手権大会」が開催され、全国各地から予選を勝ち抜いた40選手が華麗なフライトを披露しました。

秋田内陸線沿線地域が一体となった観光振興体制を構築するため、8月20日(水)、仙北市において「秋田内陸線沿線地域観光振興連絡協議会」が設立され、今後の活動方針などが話し合われました。

企業誘致推進室関係

北秋田市バイオスタウン構想について、7月28日(月)に市本庁舎で第2回構想策定委員会が開かれ、これまでの基礎調査による再利活用可能な資源量の報告と、それに基づく再利活用の基本方針が話し合われました。

企業誘致関係については、7月29日(火)に東京都内で「平成20年度北秋田市企業立地協力推進委員懇談会」を開催し、10人の委員から具体的な企業や事業の紹介、市の施策への指摘や活発な提言等をいただきました。

7月30日(水)には秋田県企業誘致推進協議会主催の「秋田県・県内市町村と首都圏企業との懇談会」が各市町村長出席のもと開催され、北秋田市内誘致企業の親会社等も参加し、市や企業の課題など現状と今後について意見・情報交換を行いました。

8月25日(月)に、林業の活性化と新産業の創出を目指す、林野庁所管の森林資源活用型ニュービジネス創造対策事業の大規模低コスト型製造システム実証事業について、北秋田市を実証事業実施地とする提案を行った独立行政法人森林総合研究所の提案が審査会を経て採択され、林野庁から委託を受けました。

これにより、北秋田市クリーン・リサイクルセンター敷地の一画に木質バイオエタノール製造システム実証プラントが建設されることになりました。

実証期間は5年間で、本年度の事業費は約730,000千円、プラントの敷地面積は約2000㎡、年度内の完成を目指し、実証期間中バイオエタノールを年125kℓ製造することを目標としております。

農林課関係

水稲については、あきたこまちの出穂期は、8月5日で平年並み、草丈は長め、茎数も平年より多く順調な生育となっております。病虫害についても、いもち病の発生は、平年に比較して非常に少なくなっております。

きゅうり、トマト、スイートコーン、その他野菜については、定植から天候に恵

まれ生育は順調で収量は平年並みとなっておりますが、消費の低迷により単価は平年を若干下回っております。

大豆については、好天に恵まれ順調に推移しております。地域農業の重点作目に位置付けている当管内の大豆がここ数年生産量の減収により低迷しているため、農林水産省東北農政局より担当者を招き、7月10日・11日の両日、北秋田地域振興局・JA鷹巣町・JAあきた北央・生産者の参加で大豆栽培講習会を行い、活発な意見交換が行われました。

売れる米・安定品質の産地づくりとして、昨年から進めて参りました北秋田広域カントリー・エレベーターの工事も順調に進み、9月19日完成で竣工式は9月23日の予定となっております。

品目横断的経営安定対策につきましては、昨年に引き続き各集落営農組織の交流と情報交換を図り、より一層発展した組織作づくりの推進を目的とし、7月5日合川多目的グラウンドを会場に、昨年より4チム多い12チム(250人)の参加で夏本番を感じさせる青空の下で汗を流し、交流を深めております。

農地・水・環境保全向上対策については、昨年からはまった事業で参加集落組織が多様な活動を行っているため、活発に活動している事例等の発表を入れた、農地・水・環境保全向上対策地域協議会北秋田支部研修会が7月29日に開催され、当管内66集落組織を含む125集落組織が参加し、この事業がますます効果的で非農家を含めた大きな運動となることを確認しております。

松くい虫防除対策事業については、平成18年度より伐倒駆除を実施してはりましたが、平成20年度においては、現在まで118本(93.48立方)発見され、県にサンプル調査を依頼しており、広範囲に被害拡大が見られ、懸念しております。松くい虫の被害拡大を防止するには、被害木を早期に発見し、駆除することが最も効果的なことから、発見したらすぐ情報提供していただくよう、市広報に掲載し啓蒙しております。

森林の持つ意義や森林づくりの重要性、必要性について、情報提供を目的にチェーンソー・アクト講習会を北欧の杜公園を会場で行いました。講習会は8月29日に鷹巣農林高等学校森林環境科2年生を対象に、30日は一般者を対象に行い、たくさんの参加者で賑わいました。

建設部

都市計画課関係

都市計画道路・太田川口線（元町工区）整備事業については、引き続き用地取得及び物件補償契約に向けた交渉を進めており、8月10日現在の進捗率は、件数比73%、金額比93%となっております。

繰越事業の都市公園災害復旧工事2件（米代川河川緑地・北緯40度カントリーパーク）については、いずれも6月に完成し、住民の利用に供しております。

建設課関係

辺地対策事業債で整備を進めてきた2路線の内、七日市松沢線の舗装工事が完成し、9月24日までの工期で施工中の小様三枚線は8月末現在の進捗率60%となっております。

平成19年災の災害復旧工事については、平成19年度繰越事業の14件が完成し、平成20年度発注の41件についても10月30日で全て完成の予定です。

7月28日に市発注工事現場で死亡事故が発生していることから、工事業者に対する安全管理の一層の徹底を図ってまいります。

下水道課関係

公共下水道事業における工事の発注状況については、鷹巣処理区において、太田屋敷後地内の面整備工事1件を、米内沢処理区において、根小屋地内の舗装復旧工事及び面整備工事の2件を、それぞれ発注しております。

また、調査設計業務委託については、阿仁合処理区において、阿仁小淵地内の管渠詳細設計及び地質調査業務の2件を発注しております。

農業集落排水事業における工事の発注状況については、道城地区において、舗装復旧工事及び本管推進工事の2件となっております。

水道課

上水道事業については、浄水場耐震補強改造工事及び浄水場資材倉庫建設工事・深閑沢地区増圧工事の3件を発注しております。また、東横町地区配水管布設工事（PP 50・L=422m）は、完成しております。

簡易水道については、鷹巣地区は、ケン越岱地区配水管布設工事(RVP 75・L=165 . 6m)及び小猿部簡易水道(小猿部第1)塩素滅菌装置更新工事の計2件を完成しております。

合川・森吉地区については、災害本復旧工事を発注しております。

消 防 本 部

常備消防関係

5月から7月までの火災、救急等については、建物火災が5件、林野火災2、その他火災2件、損害額は36,601千円で昨年同期の件数で6件の増、損害額で15,446千円増となっております。

救急出場は、302件で昨年同期より2件の増となっており、搬送人員は285名であります。事故種別では急病226件、一般負傷32件、転院搬送29件、交通事故25件などとなっております。

救助出動は14件で内6件の活動で8名を救助しております。

7月24日未明、岩手県沿岸北部を震源とする地震発生に伴い消防庁から秋田県に派遣要請があったのを受け、当本部から緊急消防援助隊として消火隊1隊5名、後方支援隊1隊2名が出動し、盛岡市アイスアリーナに集結しましたが、被害が軽微であったことから救助活動等まで至らず集結場所で解散しております。

住宅用火災警報器設置推進事業補助金交付申請件数は、8月14日現在で31自治会から申請があり、971世帯となっております。

非常備消防関係

各支団では6月中旬から支団訓練大会に向けた練習を開始し、6月29日に阿仁、7月6日に鷹巣、合川、7月13日に森吉それぞれ訓練大会を実施しております。大館北秋田支部消防訓練大会は7月20日、当市合川地区市民健康広場駐車場で行われております。

教育委員会

総務課関係

「まとびの里子ども自然村」について、今回で19回目を迎え、募集範囲を市内中心に秋田県内としたところ、市内20人・市外16人の36人の参加があり、山村留学協議会や多くの地域ボランティアのご協力により開催するができ、子ども達は、自然体験を通して交流を深めました。

あきたリフレッシュ学園では、施設見学希望者や問い合わせも多く、7月には体験入学者の受け入れをしました。今後も、県と連携して事業PRや募集活動に取り組みます。

義務教育課関係

第57回全県中学校総合体育大会については、県南会場を中心に行われ、陸上女子共通800mで松橋ユキナさん（阿仁中）が優勝し、東北大会出場を決めるなど、多くの競技で多数の選手の活躍が見られました。東北大会には、陸上女子共通砲丸投げで斉藤梓さん（鷹巣南中）、柔道個人で田口尚幸さん（鷹巣中）、中林瑞穂さん（合川中）、ソフトテニス個人で近藤広康・九嶋一馬組（森吉中）、原田秋宏・三輪幸成組（森吉中）、バレーボール女子で鷹巣中チームも出場しました。東北大会では、柔道女子個人44kg級で中林瑞穂さんが見事優勝を成し遂げ、ソフトテニス個人で近藤広康・九嶋一馬組が全国大会の切符を手にしました。

小学校においては、第35回全県学童相撲大会の個人の部で伊藤翔さん（鷹巣小）、三沢紘汰さん（綴子小）、橋本惇哉さん（阿仁合小）が東北大会への出場を果たしました。第24回全国小学校陸上競技交流大会秋田県予選の少女800mで成田利奈さん（鷹巣東小）が2位に入りました。第28回全日本学童軟式野球県大会では鷹巣小チームが準優勝となり東北大会出場を果たしました。第36回交通安全子ども自転車秋田県大会では竜森小学校が団体13連覇という大偉業を達成し、個人の部でも堀部亘世さん（6年）が優勝、2位堀部綾乃（4年）さん、3位笹代博也さん（5年）と1位～6位まで独占する活躍ぶりで、全国大会出場を果たしました。全国大会では団体11位と過去最高の成績を収め、個人の部で堀部亘世さんが4位入賞を果たしました。

小・中学校は8月26日から2学期がスタートし、事故のない安全な生活の中で、知・徳・体の一層の充実に向けて取り組みます。

高校教育課関係

中学生の1日体験入学について、7月30日に県内中学校11校から普通科38人、保護者・引率者を含めた約50人の参加のもと、体験入学者には学校・学科の内容を説

明し、体験学習を実施しました。

全国高等学校総合体育大会・総合文化祭については、フェンシング男子（団体・個人）・柔道（個人）・将棋（団体・個人）の各種目に13人の生徒が出場しました。

生涯学習課関係

北秋田市成人式について、8月15日北秋田市文化会館で開催しました。今年度の対象者は405人で、出席者は318人でした。出席した新成人は、恩師をはじめ関係者から祝福と激励を受けて、成人としての誓いを新たにしました。

公民館関係

各講座について、多くの市民が受講し、学習・交流の場として順調に運営しております。また、新たに短期のパソコン講座等を開設したほか、公開講座「先人に学ぶ～郷土の先人成田為三の人と作品」の第1回目を7月に、第2回目を8月に浜辺の歌音楽館で行い、聴講者から大変好評を得ております。

夏休み中の行事として、森吉地区と合川地区で少年球技大会を開催し、野球とバスケットボール競技を行い、仲間と体力づくりに取り組みました。

「北秋田市花いっぱい運動」については、推進協議会が母体となり、マリーゴールドの花苗を市民に販売し、各種団体や個人の方々が美しい花づくりに励んでおります。

スポーツ振興課関係

北秋田市民プールについて、7月15日より指定管理者制度を導入してスポーツコンサルタントの「有限会社シバタ」が管理運営を行っております。民間事業者の施設運営に対するノウハウ等で、市民サービスの向上と施設の効果的、かつ効率的な運営が期待されております。期間は平成21年3月31日までで、各種教室をこれまで以上に充実させ、利用者へのサービス提供、便宜を図ってまいります。

スポーツイベントについて、7月29日森吉総合スポーツセンターで「第43回家庭婦人・第9回8人制バレーボール大会」が開催され、伝統ある家庭婦人バレーボールには6チーム、8人制バレーボールには3チームの、合計100人ほどの選手が参加しました。地域や家族の応援を背に、チームワークを発揮し、楽しみながら試合に臨んでおりました。